第26巻第33号　［宮崎県第33週　(8/12～8/18)　全国第32週（8/5～8/11）］　令和6年8月22日

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和6年第33週の発生動向

□　全数報告の感染症（33 週までに新たに届出のあったもの）

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 3 例。
3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例。4 類感染症：レジオネラ症 1 例。
5 類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症 1 例、梅毒 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	20歳代	女	肺結核	咳、発熱
			70歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱、呼吸困難
			80歳代	男	左結核性胸膜炎	咳
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	40歳代	男	無症状病原体保有者	なし、O168(VT2)
4類	レジオネラ症	宮崎市	70歳代	男	肺炎型	発熱、咳嗽、呼吸困難、肺炎
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	80歳代	男	―	発熱、肺炎
	梅毒	宮崎市	20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹

□　定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 800 人(定点当たり 19.1)で、前週比 56%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は特になく、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、ＲＳウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病及びヘルパンギーナであった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 411 人(7.2)で、前週比 60%と減少した。高千穂(16.5)、延岡(12.6)、日向(8.5)、中央(8.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満が全体の約 3 割を占めた。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

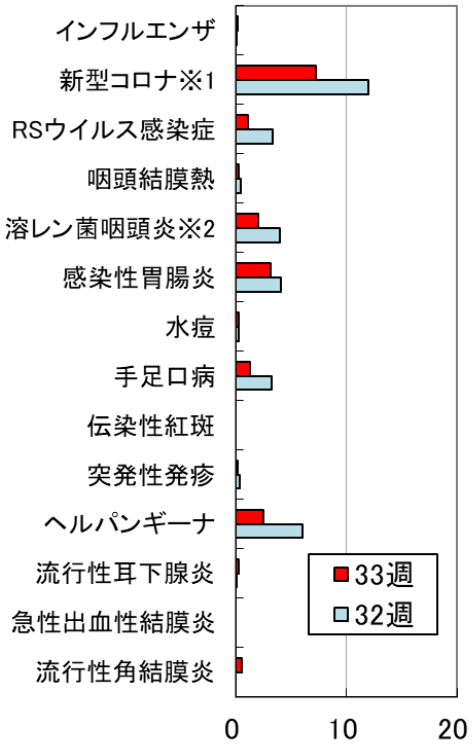
報告数は 70 人(2.0)で、前週比 50%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.1)の約 1.9 倍であった。日南(7.5)、延岡(2.8)、宮崎市(2.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は 4 歳から 9 歳が全体の約 6 割を占めた。

【ヘルパンギーナ】

報告数は 88 人(2.5)で、前週比 42%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.2)の約 2.1 倍であった。日南(6.5)、中央(6.0)、宮崎市(4.1)保健所からの報告が多く、年齢群別は 6 ヵ月から 4 歳が全体の約 7 割を占めた。

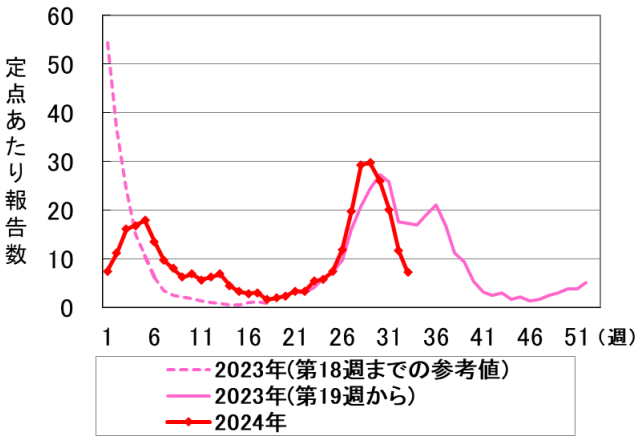
＊　過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

《前週との比較》

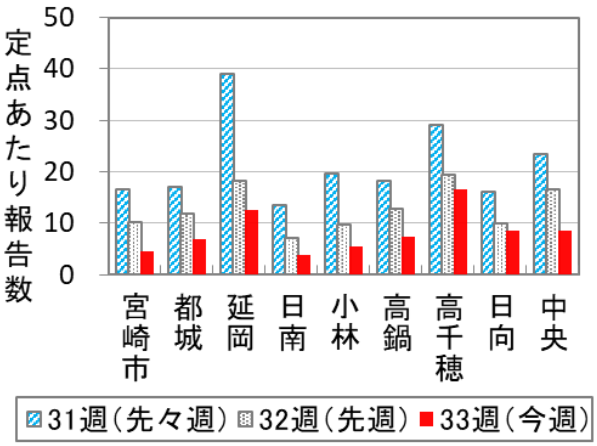


※1 新型コロナウイルス感染症
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

新型コロナウイルス感染症　発生状況

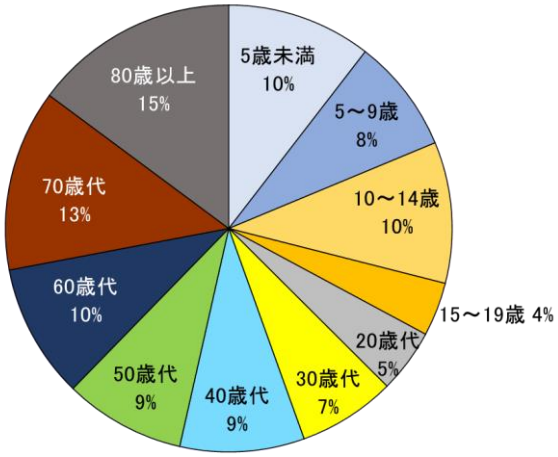


新型コロナウイルス感染症
保健所別推移(3 週分)

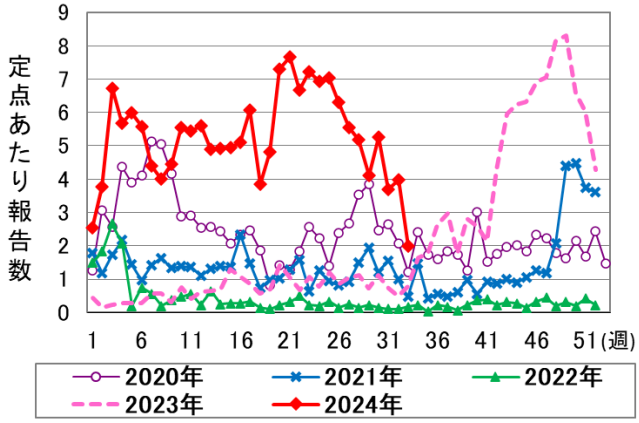


※新型コロナウイルス感染症の 2023 年第 1 週～第 18 週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

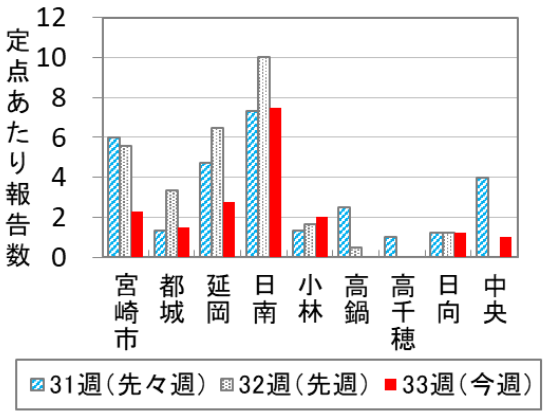
新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第 33 週)

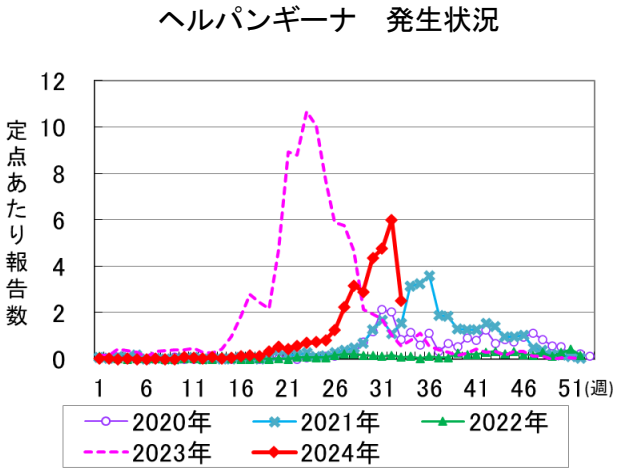


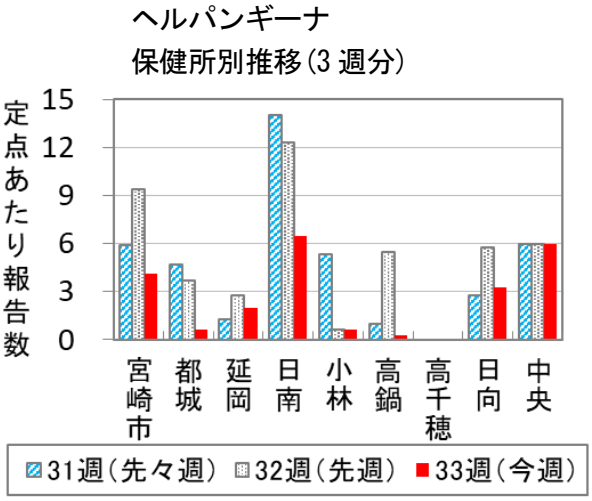
Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎　発生状況



Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎
保健所別推移(3 週分)







★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：日向保健所より 3 例報告があり、年齢はいずれも 5～9 歳であった。

○感染性胃腸炎(ロタウイルス)：延岡保健所より 1 例報告があり、年齢は 0～4 歳で病原体の群別は不明であった。

★保健所別　流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	ヘルパンギーナ(6.5)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	水痘(2.0) ヘルパンギーナ(6.0)

＊流行警報レベル開始基準値＊

・水痘(2)

・ヘルパンギーナ(6)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部　令和 6 年 8 月 19 日までに検出）

★細菌　報告なし

★ウイルス　報告なし

全国 2024 年第 32 週の発生動向

□　全数報告の感染症

1類感染症	報告なし						
2類感染症	結核	232 例					
3類感染症	細菌性赤痢	4 例	腸管出血性大腸菌感染症	125 例			
4類感染症	E型肝炎	6 例	A型肝炎	2 例	回帰熱	2 例	
	重症熱性血小板減少症候群	2 例	デング熱	2 例	日本紅斑熱	12 例	
	ボツリヌス症	3 例	レジオネラ症	38 例	レプトスピラ症	2 例	
5類感染症	アメーバ赤痢	4 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	34 例	急性脳炎	3 例	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	23 例	後天性免疫不全症候群	12 例	ジアルジア症	1 例	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	22 例	
	水痘（入院例）	7 例	梅毒	196 例	播種性クリプトコックス症	1 例	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	74 例	風しん	1 例	
	麻しん	2 例					

□　定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 84%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は特になく、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ＲＳウイルス感染症、手足口病及びヘルパンギーナであった。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 49,208 人(10.5)で前週比 79%と減少した。佐賀県(19.6)、長崎県(17.4)、岐阜県(14.8)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 2 割を占めた。

手足口病の報告数は 23,693 人(7.9)で前週比 82%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.2)の約 3.6 倍であった。青森県(19.9)、宮城県(16.8)、岩手県(14.9)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 4 歳が全体の約 7 割を占めた。

＊　過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

宮崎県 感染症情報　（70定点医療機関 ）　2024年 第33週（08月12日～08月18日）

疾病名		第32週	第33週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	3	7			4				2	1	
	定点当り	0.05	0.12	0.00	0.00	0.57	0.00	0.00	0.00	1.00	0.17	0.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	692	411	72	69	88	15	22	44	33	51	17
	定点当り	11.93	7.21	4.50	6.90	12.57	3.75	5.50	7.33	16.50	8.50	8.50
RSウイルス感染症	報告数	119	36	9	5	6	6	2	4		2	2
	定点当り	3.31	1.03	0.90	0.83	1.50	3.00	0.67	1.00	0.00	0.50	2.00
咽頭結膜熱	報告数	15	9	1	2	1			2		3	
	定点当り	0.42	0.26	0.10	0.33	0.25	0.00	0.00	0.50	0.00	0.75	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	144	70	23	9	11	15	6			5	1
	定点当り	4.00	2.00	2.30	1.50	2.75	7.50	2.00	0.00	0.00	1.25	1.00
感染性胃腸炎	報告数	146	108	34	14	4	14	14	5	2	16	5
	定点当り	4.06	3.09	3.40	2.33	1.00	7.00	4.67	1.25	2.00	4.00	5.00
水　痘	報告数	8	9	3		3	1					2
	定点当り	0.22	0.26	0.30	0.00	0.75	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00
手足口病	報告数	117	43	21	3	3	8	2	2	2	1	1
	定点当り	3.25	1.23	2.10	0.50	0.75	4.00	0.67	0.50	2.00	0.25	1.00
伝染性紅斑	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	11	5	3		1					1	
	定点当り	0.31	0.14	0.30	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	217	88	41	4	8	13	2	1		13	6
	定点当り	6.03	2.51	4.10	0.67	2.00	6.50	0.67	0.25	0.00	3.25	6.00
流行性耳下腺炎	報告数	1	7						6			1
	定点当り	0.03	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.50	0.00	0.00	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数		3	2	1							
	定点当り	0.00	0.50	0.67	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	1	3								3	
	定点当り	0.14	0.43	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		3.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	報告数	1	1			1						
	定点当り	0.14	0.14	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点：57、小児科定点：35（インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる）、眼科定点：6、基幹定点：7

＊先週（32週）の報告数には一部修正があります。

●全数把握対象疾患累積報告数（2024年 第1週 ～33週 保健所受理分）

2類感染症	結核	69例(3)					
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	25例(1)					
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	7例	
	つつが虫病	14例	日本紅斑熱	6例	レジオネラ症	10例(1)	
5類感染症	アメーバ赤痢	3例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	4例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10例	後天性免疫不全症候群	2例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4例	
	侵襲性肺炎球菌感染症	11例(1)	水痘（入院例）	4例	梅毒	96例(1)	
	播種性クリプトコックス症	2例	破傷風	2例	百日咳	38例	

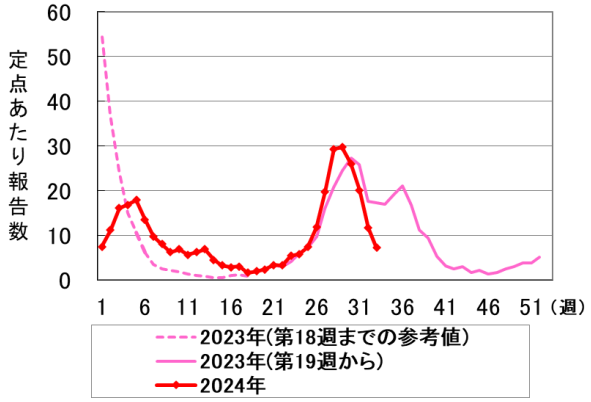
（　）内は今週届出分、再掲

新型コロナウイルス感染症情報《県内第 33 週、全国第 32 週（再掲）》

□ 県内第 33 週 新型コロナウイルス感染症発生動向

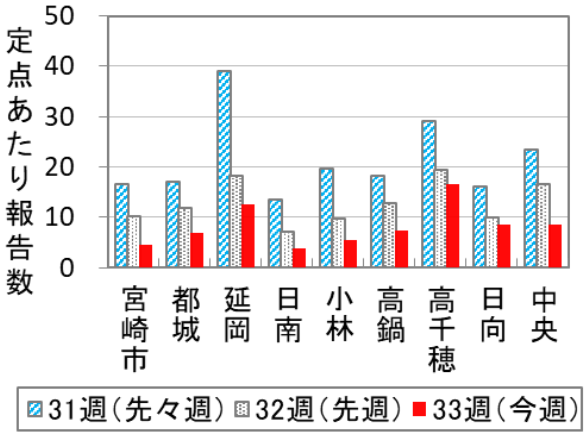
8 月 12 日～8 月 18 日までの 1 週間で 411 人(7.2)の報告があった。前週比 60%と減少し、高千穂(16.5)、延岡(12.6)、日向(8.5)、中央(8.5)保健所管内からの報告が多かった。

新型コロナウイルス感染症　発生状況

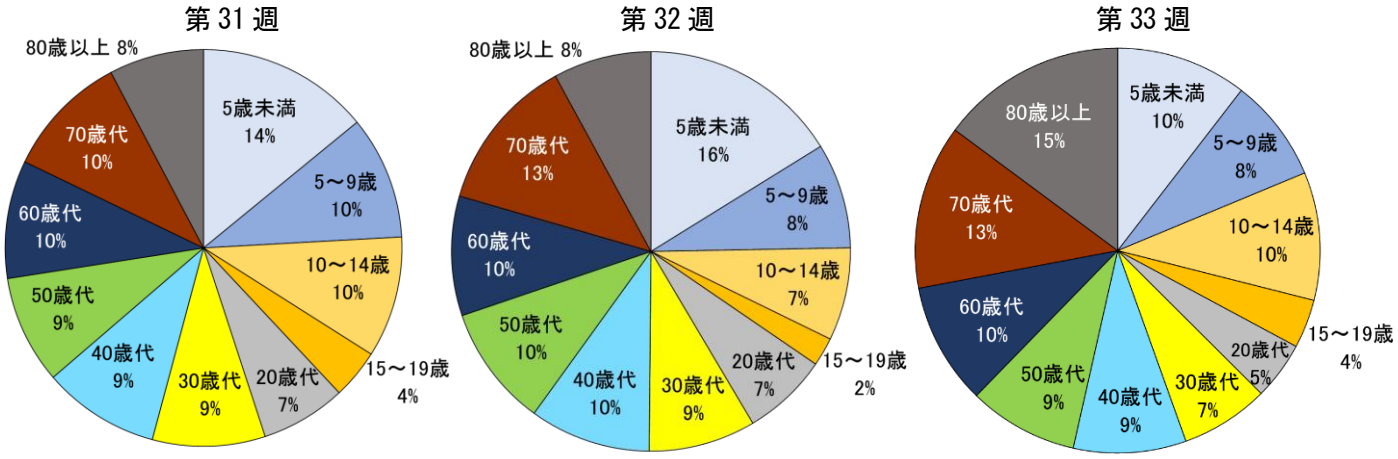


※新型コロナウイルス感染症の 2023 年第 1 週～第 18 週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

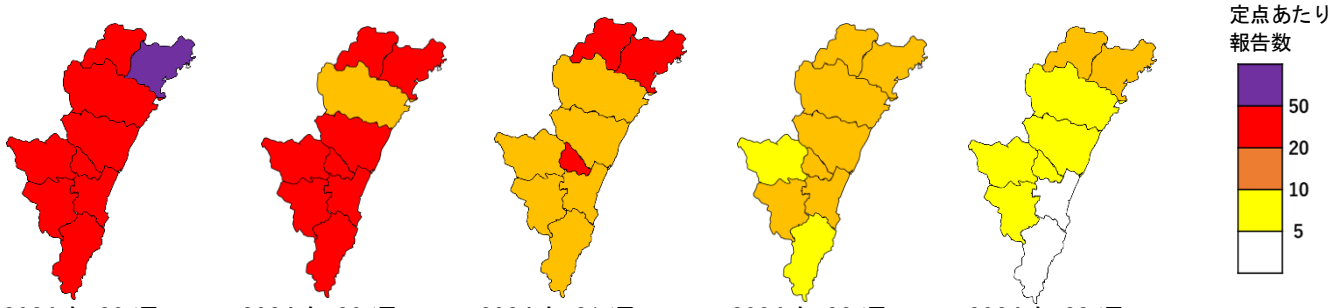
新型コロナウイルス感染症
保健所別推移(3 週分)



新型コロナウイルス感染症　年齢群別グラフ



保健所別新型コロナウイルス感染症流行マップ　2024 年第 29 週～2024 年第 33 週



2024 年 29 週（県全体 29.7）　2024 年 30 週（県全体 26.0）　2024 年 31 週（県全体 20.1）　2024 年 32 週（県全体 11.9）　2024 年 33 週（県全体 7.2）

＊　県独自の基準によるもの

□ 全国第 32 週 新型コロナウイルス感染症発生動向

8 月 5 日～8 月 11 日までの 1 週間で 49,208 人(10.5)の報告があった。前週比 79%と減少し、佐賀県(19.6)、長崎県(17.4)、岐阜県(14.8)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 2 割を占めた。